

毛織物のまち



■尾西市

B I S A I S H I

尾西市は、愛知県西北部、木曽川中流左岸の濃尾平野の中心に位置し、北と東は一宮市に、南は稲沢市と祖父江町に隣接、西は木曽川に架かる濃尾大橋により岐阜県羽島市と結ばれています。市の中央を東西に東海道新幹線と名神高速道路が並行して走っており一宮ジャンクションにより結ばれた東海北陸自動車道の尾西 I C が新しい玄関口として期待されています。

尾西市は市の西側を流れる木曽川の清流に生まれ“毛織物のまち”として、国内はもとより海外にも知られてきましたが、現在の消費者ニーズの個性化や多様化に対応するために、地場産業である繊維産業を軸に複合的な産業都市を目指すとともに、自然と共存し、お年寄りや子供たちにやさしい「心ふれあう緑豊かな複合産業都市」を目指しています。

観光施設としては、「女流ゴッホ」の異名を持つ洋画家、三岸節子記念館、また本市の歴史、主に主要産業である繊維について学べる歴史民族資料館、中野の渡しなどがあります。

また、尾西三大祭りとして4月上旬の「桜祭り」、明治25年に水天宮を奉る川祭りとして始まった「夏祭り」。川面に浮かぶ5艘のまきわら船が、荘厳で幻想的に川面を彩り、夜空には尾張随一20号玉のほか5千発の花火が夜空を彩ります。

（8月13日前夜祭、14日花火大会）



織物産業の発展を願って始まった「びさいまつり」、織姫パレードや手作りのみこしや仮装パフォーマンスなど市民総参加によるまつりです。

尾西市役所ホームページアドレス <http://www.city.bisai.aichi.jp>